

トピックス

勝山・永平寺衛生管理組合

全国的に公共下水道や農業集落排水事業が普及するなか、汲み取りし尿の処理量が年々少なくなっています。

しかも、し尿処理施設の老朽化が進むなか、新たな施設の建設に多額の費用がかかるため、国は公共下水道でのし尿処理を認めるようになってきています。

勝山・永平寺衛生管理組合でも施設が老朽化し、今後の処理方法を検討せざるを得ない状況です。

組合議会では、より効率的な処理方法を検討するため、今年度に先進地の視察を行うことになりました。

大野・勝山地区 広域行政事務組合

今議会において大野・勝山地区広域行政事務組合の議員定数の削減と衛生費負担金への均等割の導入に伴う規約の一部変更がありました。

議員定数は11人が10人となり、大野5人、勝山5人になりました。また、衛生費負担金については、昨年7月に負担金協議に関する協議会が設置され、複数回の協議が行われました。そして、委員長（福井工業大学 和田章仁教授）以下、3名による負担金の分賦割合の見直し案で両市が合意し、衛生費については均等割10%、人口割90%とすることが決まりました。

～常任委員会の審議より～ 総務文教厚生委員会

勝山市育英資金について

現在のシステムでは貸与開始が入学時以降となるため、審査時期を見直し適宜な支給が必要との意見が多くあり、金額の増額を含めて今後の検討を教育委員会に申し入れました。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険について

国民健康保険については、保険税の改定にあたり、委託料や負担金について検討しました。また委員からは健康診断の内容についても意見がありました。

後期高齢者医療保険については、今後の制度変更に関する説明を受けて、望ましいあり方について意見を出しました。

介護保険については、施設の種類や利用時の個人負担金、審査認定時の期間や結果に対しての意見があり、各事業の内容や状況について説明を求めました。

住宅用火災警報機について

期限まで1年余りとなりましたが、市内での普及率向上のために、消防署、消防団、区長会が協力して普及促進を図るよう意見があり、今後の方針が示されました。

陳情書について

提出されました6件の陳情については、様々な角度から検討と議論を行い、4件を採択、1件を趣旨採択、1件を継続審査としました。

その他、体育施設のあり方検討委員会の中間報告、史跡平泉寺整備事業、消防署の広域化と指令台の更新等について説明があり、質疑を行いました。

建設産業委員会

市有林について

市有林管理については、実施する整備面積、整備箇所等について質疑がありました。また、この特別会計の予算以外にも緊急雇用対策等を活用してできる、くずきりなどの事業も進めるよう委員から提案がありました。

上下水道及び農業集落排水事業について

上下水道及び農業集落排水の使用料金の改定にあたっては、これまで閉会中にも委員会を開き種々議論をしてきました。今期定例会の委員会では、再度料金改定の根拠となった資料等を精査し妥当性を検討しました。特に下水道料金改定の要因の一つである高資本費対策については、予想していたほどの財政措置が期待できないことを受け、今後も定期的に収支を検証し、料金の見直しをしていくことが確認されました。

ものづくり技術・研究開発の支援等について

市ではものづくりの技術・研究に対し、県や国の事業で実施できない補助を実施する計画をしています。議会では製造業だけでなく、観光産業、年の市等で出店している商品などにも補助ができるよう、要望がありました。

定住化促進事業について

議会では以前からこの定住化促進事業の都合な点について言及してきました。この度、制度が変更され申請者の要件緩和等が盛り込まれ、そのことについて当委員会で説明がありました。